

魚沼地域版

魚沼市のみなさんへ



せせらぎ

～清流のきらめく魚沼地域～

【配布市町村】魚沼市

【地域版の問い合わせ先】魚沼地域振興局企画振興部 〒946-0004 魚沼市大塚新田91-4

☎025(792)1303 FAX025(792)6029 【E-mail】ngt111510@pref.niigata.lg.jp

【URL】http://www.pref.niigata.jp/chiikishinko/uonuma/

魚沼地域振興局の夜間休日緊急ダイヤル ☎025(792)1311 ※事故・災害などの緊急時にご連絡ください。

私、魚沼市の住民になりました。

県では市町村が取り組む交流・定住施策を支援しています。
今回は県外から魚沼市に移住された方々を紹介します。



土方 陽子さん

●移住してきた経緯は？

東京生まれで、魚沼の自然に惹かれて約15年前に移住してきました。定年まであと10年という時です。この10年間は、毎日東京まで新幹線通勤1時間30分です。入広瀬に決めたのは、東京に勝るとも劣らない水洗化率98%のものすごさと、除雪体制がしっかり実行というのも大なる魅力でした。

●魚沼に来て感じたことは？

水と空気と豊かな自然です。地域とのかかわりで苦になる部分もありましたが、集落の方々の人情の深さやおやかさに助けられ、私自身も「郷に入っては郷に従え」の気持ちを強く持って定住したので、今日の幸せがあるのだと思います。また、機械いじりが好きで、この豪雪地でも除雪機のおかげで雪との共生ができるのです。月に数回は新幹線で東京に行き、食事会や観劇でリフレッシュしています。

●今後の抱負は？

健康第一で、趣味の馬術、5匹の犬達とこの地でず～っとこの生活を続けていきます。



梅井 雅行さん

●移住してきた経緯は？

東京出身で、2、3年前からアウトドア関係の仕事で長野に移りました。田舎を知らない都会の子供達に日本の原風景を体験する場を提供したいと思い、今年5月から農家民宿について勉強するため魚沼に移り住んでいます。魚沼に決めたのは県の移住促進プロジェクトのホームページを見て、いくつか回ってみて決めました。今は農家民宿の手伝いとエコ・ミュージアムの非常勤職員をやっています。

●魚沼に来て感じたことは？

やはり山や川などの自然がとてもきれいだということです。それに水にはこだわりがあるのですが、魚沼は水が豊富で、湧き水がおいしいです。日本の原風景が残っているところだと思います。まだ冬を過ごしていないのでわからないのですが、豪雪は覚悟しています。

●今後の抱負は？

田舎の風景、暮らしを体験する場を提供するという夢の実現に向けてがんばります。



森田 徳幸さん

●移住してきた経緯は？

19年前に石打のスキー場近くでペンションを始めました。もともと釣りが好きで、魚野川の近くに住みたいと思っていました。一昨年ペンションをやめて、空き民家に移ってきました。そして昨年隣の老夫婦が市街地に移り住むというので、古民家を引き取り農家民宿を始めました。

●魚沼に来て感じたことは？

採ってきたキノコをお裾分けしたら、食べきれないくらいの野菜をもらったなど、地域の結びつきが強いことがいいところだと思います。ちょっと不便なのは、買い物するのに市街地まで3、40分かかると、病院が遠くて急病になったときが心配です。

●今後の抱負は？

現在は宿泊用の古民家が1軒だけで、予約が重なったときに断っていて申し訳ないので、3軒程度に増やしたいです。

魚沼市では、中山間地域の活性化を図るため、県から助成を受け移住による人口の増加をめざしています。「大自然の中で健康的な生活空間を提供」「自然と食材と人情は超一流」「女性に優しい空間を」といった魚沼市の利点を、移住を考えている方へPRしていく予定です。

その一環として、地元協力者、すでに移住された方や市・県の職員などで構成する「うおぬま田舎暮らし推進協議会」を平成19年7月に設立し、田舎暮らしお試し体験ツアーや移住者との懇談会など様々な取り組みをしています。

「うおぬま田舎暮らし推進協議会」

■目的

交流人口や定住人口の増大をめざし、地域の活性化を図る。

■事業内容

- (1) 地域の情報を収集・発信
- (2) 新規定住者の受入体制づくり
- (3) 都市との結びつき強化を図る

■構成委員

地元協力者、すでに移住された方、市・県の職員など14名

◆「うおぬま田舎暮らし」に関するお問い合わせ先

☎魚沼市地域振興課

☎025-792-9752 FAX:025-793-1016

トピックス “リフレッシュ出前講座”を 活用しませんか。

概ね50人以下の事業所に、保健師、栄養士、精神保健相談員、体育指導員等を派遣し、健康づくりに関する出前講座を行います。講座のメニューは「メタボリック症候群予防」「禁煙支援」「こころの健康」「口腔ケア」「適正飲酒」の5つで、時間は概ね1時間程度です。これ以外にもご希望のテーマがあれば可能な限り対応します。費用は無料ですが、試食や検査を行う場合は実費のみご負担いただきます。

☎ 魚沼地域振興局健康福祉部
地域保健課地域保健担当

☎025-792-8612



みどり豊かな地・魚沼で育つ「魚沼きのこ」

～全国トップを目指して「魚沼きのこ」ブランド化を推進します～

魚沼コシヒカリで有名な魚沼地方は、きのこでも全国有数の生産地となっており、えのきたけ、まいたけ、ぶなしめじ、エリンギ、なめこ、ひらたけ、生しいたけの7種類が栽培されています。魚沼の大自然の中、冷涼な気候を活かして始まったきのこ栽培も、今は衛生的な栽培環境と徹底した品質管理で全国一を目指しています。

新鮮で美味しい魚沼きのこを多くの人に知って欲しい。そんな思いから「魚沼きのこブランド化推進協議会」を生産者団体、市町、県が立ち上げ、新たな取り組みを始めています。

今年度から、「食品安全GAP(適正な生産工程・品質管理)」に取り組み生産さ

れたきのこに「魚沼きのこのロゴマーク」を貼付することで消費者へ積極的に安全性をPRし、知名度アップを図ります。

あわせて、ホームページで魚沼きのこの「知る・見る・食べる・買う」に関する情報を発信しています。ぜひ、ご覧ください。(検索は→「魚沼きのこ」)

きのこは、食物繊維やビタミンB群が多く含まれる食品です。その上美味しく、さまざまなバリエーションに利用できる食材です。ぜひ、毎日、食べてください。



南魚沼地域振興局農林振興部
課長代理 田中 修

